

# 立科町水道事業経営戦略

団 体 名 : 長野県 立科町

事 業 名 : 水道事業

策 定 日 : 平成 29 年 3 月

計 画 期 間 : 平成 29 年度 ~ 平成 38 年度

## 1. 事業概要

### (1) 事業の現況

#### ① 給 水

供用開始年月日	昭和36年 4月 1日	計 画 給 水 人 口	12,805 人
法 適 ( 全 部 ・ 財 務 ) ・ 非 適 の 区 分	法適用(全部)	現 在 給 水 人 口	7,719 人
		有 収 水 量 密 度	22.2 千m <sup>3</sup> /ha

#### ② 施 設

水 源	<input type="checkbox"/> 表流水 , <input type="checkbox"/> ダム , <input type="checkbox"/> 伏流水 , <input type="checkbox"/> 地下水 , <input type="checkbox"/> 受水 , <input checked="" type="checkbox"/> その他 (複数選択可)		
施 設 数	浄水場設置数	5	管 路 延 長 151.8 千m
	配水池設置数	9	
施 設 能 力	12,012 m <sup>3</sup> /日	施 設 利 用 率	31.2 %

③ 料金

これまで異なっていた夢の平・白樺湖簡易水道と上水道、姥・中尾・美上下簡易水道料金を統一するなど、平成22年4月請求分から料金が改定されています。

立科町水道料金表

(上水道・簡水)

平成 22 年 4 月 1 日

◎用途別基本料金表 (2ヶ月)

(税抜)

用途別	基本水量	基本料金
1. 一般家庭用	20 m <sup>3</sup>	2,400円
2. 営業用	40 m <sup>3</sup>	5,900円
3. 臨時給水	40 m <sup>3</sup>	9,200円
4. 部落・公会所・ゲートボール場	20 m <sup>3</sup>	1,100円
5. 別荘未建築		年額 15,600円
6. 休栓 (1年以上)		1,000円

料金体系の  
概要・考え方

◎超過料金表

(一般家庭用・部落・公会所・ゲートボール場)

◎超過料金表

(営業用・臨時給水)

超過使用水量(m <sup>3</sup> )	段階別使用水量	1m <sup>3</sup> 当たりの金額
1 ~ 20	20m <sup>3</sup>	170円
21 ~ 50	30m <sup>3</sup>	200円
51 ~ 100	50m <sup>3</sup>	210円
101 ~ 180	80m <sup>3</sup>	240円
181 以上		250円

超過使用水量(m <sup>3</sup> )	段階別使用水量	1m <sup>3</sup> 当たりの金額
1 ~ 20	20m <sup>3</sup>	170円
21 ~ 50	30m <sup>3</sup>	200円
51 ~ 100	50m <sup>3</sup>	210円
101 ~ 160	60m <sup>3</sup>	240円
161 ~ 460	300m <sup>3</sup>	250円
461 ~ 2,960	2,500m <sup>3</sup>	280円
2,961 以上		290円

◎量水器使用料 (2ヶ月)

口径別	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm
金額	560円	620円	660円	980円	1,200円	3,100円	4,120円

※上記の表で算出された金額に消費税を加算したものが水道料金の合計額

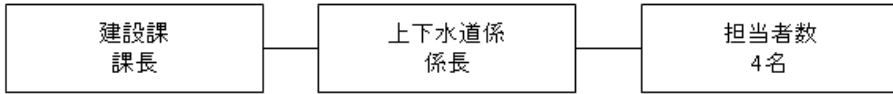
料金改定年月日  
(消費税のみの改定は含まない)

平成 22 年 4 月 1 日

④ 組織

立科町水道事業の組織体制は下記のとおりとなっており、職員は管理職を含めて6名となっています(兼任者を含む)。

【建設課】



(2) これまでの主な経営健全化の取組

職員が行っていた検針業務を平成3年～7年にかけて民間委託に切り替え、費用の削減を図っています。

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

別紙報告書を参照。

## 2. 将来の事業環境

### (1) 給水人口の予測

現状分析で触れたとおり、過去10年間の行政区域内人口は減少を続けています。普及率は100%を達成していることから、行政区域内人口の推計結果がそのまま給水人口となることが予測されます。

### (2) 水需要の予測

本町の水需要は、家庭用が主体となっています。そのため、水需要は概ね給水人口予測に比例するものと考えられ、「立科町水道基本計画」によれば、1日平均有収水量は下表のとおり微減が続くものと考えられます。

		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	H38年度
生活用	一日平均有収水量(m <sup>3</sup> /日)	1,630	1,613	1,603	1,594	1,578	1,570	1,560	1,547	1,539	1,525
業務・営業用	一日平均有収水量(m <sup>3</sup> /日)	791	789	786	784	783	781	781	780	780	778
工業用	一日平均有収水量(m <sup>3</sup> /日)	153	154	156	158	160	162	164	165	167	169
合計	一日平均有収水量(m <sup>3</sup> /日)	2,574	2,556	2,545	2,536	2,521	2,513	2,505	2,492	2,486	2,472
合計	年間有収水量(千m <sup>3</sup> )	939.5	932.9	928.9	928.2	920.2	917.2	914.3	912.1	907.4	902.3

### (3) 料金収入の見直し

料金収入は、(2)の水需要に料金単価を乗じることにより予測されます。今のところ料金改定は予定されていないため、今後10年間の料金収入としては、直近年度の平均料金単価により予測値を算定することが適切と考えられます。しかしながら、今後、人口減少による使用料収入の減少が見込まれる中で、適切な施設の維持管理を行っていくために使用料の見直しについても検討が必要です。

(税抜)

		H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	H38年度
料金収入	(千円)	212,343	201,422	200,555	200,393	198,664	198,033	197,403	196,916	195,906	194,802

### (4) 施設の見直し

供用開始後55年が経過しており、今後は配水管の布設替えや老朽化設備の更新、配水池の更新等が必要となっていきます。

### (5) 組織の見直し

現状において担当職員は全員兼任であり、必要最低限の組織体制で運営をまかなっている状況のため、現状の組織体制の見直し及び検証が必要です。

## 3. 経営の基本方針

### 【経営理念】

『健全な経営に努め、おいしい水を引き続き提供します。』

### 【経営基本方針】

#### ① 施設の適切な更新と「おいしい水」の供給

配水池の清掃、老朽配水施設の更新を行い、「おいしい水」の供給を継続していきます。また、供給拠点の設置や応急給水体制の充実(民間との連携)、基幹管路の選定・耐震化等を進めていきます。

#### ② 経営の健全化

今後給水収益が減少していく前提のもと、適切な設備投資を行った上で、利益の計上や地方債の償還等により経営の健全化を図っていきます。また、今後の施設更新に当たっては、使用水量に応じたダウンサイジングや施設の統廃合も含めた検討を進めていきます。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画) : 別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	長寿命化工事等必要な更新投資を行いつつ、黒字経営を維持し企業債の着実な償還を目指します。
-----	--

① 主な投資の内容

次のとおり、今後10年間の更新等投資を見込んでいます。

(税込)

	工事名	事業名	金額(円)		工事名	事業名	金額(円)
平成29年度	配水管布設替工事	配水施設改良費	51,073,000	平成35年度	配水管布設替工事	配水施設改良費	42,640,000
	量水器定期交換	営業設備費	8,718,516		量水器定期交換	営業設備費	8,000,000
	<b>合計</b>		<b>59,791,516</b>		中央監視システム更新 4年計画	中央監視施設整備費	20,000,000
平成30年度	配水管布設替工事	配水施設改良費	48,400,000	平成36年度	配水管布設替工事	配水施設改良費	42,000,000
	量水器定期交換	営業設備費	8,000,000		配水池減菌設備更新	配水施設改良費	4,000,000
	自動検針送信機交換	営業設備費	5,720,000	中央監視システム更新 4年計画	中央監視施設整備費	20,000,000	
	水源フェンス設置整備	水源施設整備費	12,000,000	量水器定期交換	営業設備費	8,000,000	
<b>合計</b>		<b>74,120,000</b>	<b>合計</b>		<b>74,000,000</b>		
平成31年度	配水管布設替工事	配水施設改良費	38,353,000	平成37年度	配水管布設替工事	配水施設改良費	26,353,000
	量水器定期交換	営業設備費	8,000,000		量水器定期交換	営業設備費	8,000,000
	自動検針送信機交換	営業設備費	8,600,000		自動検針送信機交換	営業設備費	8,600,000
	水源フェンス設置整備	水源施設整備費	12,000,000	中央監視システム更新 4年計画	中央監視施設整備費	20,000,000	
<b>合計</b>		<b>66,953,000</b>	<b>合計</b>		<b>62,953,000</b>		
平成32年度	配水池更新その1	配水施設改良費	50,000,000	平成38年度	配水管布設替工事	配水施設改良費	33,782,000
	量水器定期交換	営業設備費	8,000,000		量水器定期交換	営業設備費	8,000,000
<b>合計</b>		<b>58,000,000</b>	自動検針機器更新		営業設備費	13,000,000	
平成33年度	温井配水池更新その2	配水施設改良費	50,000,000	<b>合計</b>		<b>54,782,000</b>	
	量水器定期交換	営業設備費	8,000,000				
	<b>合計</b>		<b>58,000,000</b>				
平成34年度	配水管布設替工事	配水施設改良費	43,160,000				
	量水器定期交換	営業設備費	8,000,000				
	中央監視システム更新 4年計画	中央監視施設整備費	20,000,000				
	<b>合計</b>		<b>71,160,000</b>				

② 民間の資金・ノウハウ等の活用に関する事項  
該当なし。

③ 施設・設備の廃止・統合(ダウンサイジング)に関する事項  
収支計画上記該当なし。

ただし、今後の施設更新に当たっては、使用水量に応じたダウンサイジングや施設の統廃合も含めた検討を進めていきます。

④ 施設・設備の合理化(スペックダウン)に関する事項  
該当なし。

⑤ 施設・設備の長寿命化等の投資の平準化に関する事項

平成30年度以降にアセットマネジメント事業により長寿命化計画を策定する方針です。その後、具体的な長寿命化の事業計画を策定し、収支計画の更新を行っていきます。

⑥ 広域化に関する事項  
該当なし。

⑦ その他  
該当なし。

## ② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	料金収入が減少する中で、適切な更新投資を行いつつ、一般会計からの繰り入れに頼らずに無駄のない経営を心掛けることにより、経営の健全化を図っていきます。
-----	--

### ① 料金に関する事項

平成29年度以降の料金収入については次のように算定しております。

・水道・簡易水道(姥・中尾・美上下、夢の平、白樺湖)

平成27年度の実績により、料金収入の平均単価を「215.9円/m<sup>3</sup>」と算出いたしました。平成29年度から38年度までの有収水量について、人口推計結果等を基に予測しているため、有収水量に算出した平均単価と日数を乗ずることで将来の料金収入を算定しています。

・八重原簡易水道分水料

八重原では分水を行っており、他とは料金体系が異なります。そのため、個別に金額算定を行い、将来の料金収入を算定しています。

### ② 企業債に関する事項

新規発行は予定しておらず、着実に償還を進めていきます。

### ③ 繰入金に関する事項

基準内繰入額の範囲内における財政運営を維持していきます。

### ④ 財源確保の取組に関する事項

該当なし。

## ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

### ① 委託費に関する事項

配水池での老朽が予測され、平成30、31年度には、配水池不断水清掃が必要となるため200万円程度の委託費を見込んでいます。

### ② 修繕費に関する事項

平成29年度から34年度にかけて、老朽化が見込まれる夢の平簡易水道施設について、屋根の修繕に伴う修繕費用を総額6,000万円程見積もっております。その他の修繕につきましては、平成28年度の数値を基準としています。

### ③ 動力費に関する事項

平成27、28年度の数値では差異が少なく、平成29年度以降も平成28年度と同じ水準が続くことを見込んでいます。

### ④ 職員給与費に関する事項

平成28年度に職員の異動があったため、平成27年度よりも413万円程度減少しております。平成29年度以降は現状の人数で活動することを見込んでいます。

### ⑤ その他

該当なし。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 投資について検討状況等

民間の資金・ノウハウ等の活用 (PFI・DBOの導入等)	該当なし。
施設・設備の廃止・統合 (ダウンサイジング)	今後の施設更新に当たっては、使用水量に応じたダウンサイジングや施設の統廃合も含めて検討します。
施設・設備の合理化 (スペックダウン)	該当なし。
施設・設備の長寿命化等の 投資の平準化	平成30年度以降にアセットマネジメント事業により長寿命化計画を策定する方針です。その後、具体的な長寿命化の事業計画を策定し、収支計画の更新を行っていきます。
広 域 化	該当なし。
そ の 他 の 取 組	防災・安全対策に関する事項 供給拠点の設置や応急給水体制の充実(民間との連携)、基幹管路の選定・耐震化等を進めていきます。

② 財源について検討状況等

料 金	具体的な料金改定の予定は見込んでおりませんが、消費税率の変更等に合わせて、料金改定の必要性について検討します。
企 業 債	該当なし。
繰 入 金	該当なし。
資産の有効活用等(*2)による 収入増加の取組	該当なし。
そ の 他 の 取 組	該当なし。

\*2 遊休資産の売却や貸付、債券運用の導入、小水力発電や太陽光発電など

③ 投資以外の経費についての検討状況等

委 託 料	該当なし。
修 繕 費	長寿命化計画の策定に伴い、長期的な修繕費の削減・平準化について検討します。
動 力 費	該当なし。
職 員 給 与 費	該当なし。
そ の 他 の 取 組	該当なし。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略の事後検証、 更新等に関する事項	経営戦略は策定して終わりではなく、いわゆるPDCAサイクル(計画PLAN - 実行 DO - 検証CHECK - 改善 ACTION)により、継続的な進捗管理を行い、常に経営改善につなげていくことが必要です。 具体的には、年度末において、目標や計画の達成状況について定期的・定量的に検証・評価し、実施手法の改善や計画の見直しに反映させていくものとします。 また、ローリング(計画の定期的な見直し)についても、3～5年おきに計画を経営実態やその時点における経営環境に照らし合わせて見直しを行い、適宜経営戦略における目標や施策、計画数値、実施体制等について変更を実施していきます。
-------------------------	--